

謹賀新年



甲賀市議会議員 鵜飼 勲



甲賀市長 中嶋 武嗣

新年、明けましておめでとございます。年頭にあたり謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年中は、市政全般に渡り格別のご厚情を賜りましたことを感謝いたしますと共に、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、9月15日から16日にかけて台風18号が豪雨をもたらし、市内各地で浸水、道路や農地の崩壊など大きな爪あとを残しました。1日も早く復旧するよう取り組むと共に、災害から市民生活を守る強いまちづくりをめざしてまいります。また、上下分離方式という新しい体制で昨年4月に再スタートを切った信楽高原鉄道は、柵川に架かる鉄橋が流されるという甚大な被害を受けました。当初は高いハードルであった国県の財政支援をいただける運びとなり、運行再開に向けた門戸が開かれましたが、持続的な運営のためにはこれまで以上の多くのご利用がなければなりません。信楽高原鉄道が地域の公共交通として存続できるようご協力をお願いいたします。

ところで、私たちの甲賀市は、本年10月に市制10周年を迎えます。時の流れはこの世に存在する全てのものを必ず変化させるものでありますが、文明史転換点といえるこの間の歩みの中で、当市においては強い財政基盤を築きながら、市民が安全・安心を共有できるまちづくりを進めてまいりました。子育て支援をはじめ、あらゆる施策に対し、知恵と工夫を凝らし、市独自のモデルも数多く創出してきました。地方主権が加速するなかで基礎自治体は行政を経営する視点が不可欠であり、市民皆様の参画が大きな力になってまいります。甲賀市が10年という大きな節目を契機とし、さらに、市民幸福度を実感できる「生活感幸」のまちとして、訪れる人々にも憧れられる発展を遂げていけるよう職員共々一所懸命に頑張りますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

市民皆様にとりまして平和で幸多い年となることを心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた平成26年の新春を健やかに迎えのことと、謹んでお慶び申し上げますとともに平素からの市議会に対する温かいご理解と力強いご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

私ども市議会議員は、昨年10月に執行されました甲賀市議会議員一般選挙におきまして、市民の皆様から負託を受けた27人を市議会に送り出していただきました。改めてその責任の重さを実感しているとともに、身の引き締まる思いであります。今後ともご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

私たちの町、甲賀市は先人達の努力により旧五町が合併し、今秋には市制施行10周年という節目を迎えます。この間、甲賀市としての基盤が確立され、これまでの10年間で築き上げてきたものをより堅固にするともに市民一体感の更なる醸成を図り、今後の甲賀市の益々の発展のきっかけとするためにも市議会に課せられた責任と役割は大きなものがあります。

市議会におきましては、昨年9月に議会の最高規範となる「甲賀市議会基本条例」を成立させました。地方自治の本旨に基づく市民皆様の負託に的確に応え、子どもから高齢者まで、みんなが安全で安心して生活できる豊かなまちづくりに寄与することを目的として、ようやくスタート地点に立ったばかりで、これから議会報告会など議会基本条例で定めた活動をしっかりと着実に進めていきたいと考えています。

市議会といたしましては、今後ともさまざまな市民ニーズを的確にとらえ、峻別をしながら市政に反映するとともに「透明性の向上と住民本位」の基本原則に基づく議会運営を推進し、自らの信念に従い、常に9万3千余名の市民の立場で議決機関としての機能、役割を十分発揮してまいりますのでより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後になりましたが、新春の初日の出のような華麗な輝きのように市民皆様や甲賀市にとりまして幸多き良き一年であることを議員一同心よりご祈念申し上げます。